

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年7月15日(月・祝)
場 所 川崎自治会館 (川崎自治会)
参加者 26人



主な意見等

参加者 ふじみ野市川崎地区新河岸川国道254バイパスの9ヘクタールの地域、今は農地、田んぼ等になっていますが、その土地の地権者が45軒ほどあります。その地権者たちの意向を100%取った形で今、皆さんに賛成してもらっているのですが、現在、発起人8名ほどで勉強会を何回か開催しております。この地区について、副市長からお話は伝わっているかと思うのですが、穏便に進めるのに時間がかかるかと思えます。次の世代に問題等を残さないよう、市との地権者の意向を踏まえて土地活用を、今の我々の世代のうちに進めていただければと思います。

市長 お話は伝わってきております。

地域の方々の思いとして、次の世代に、今行えることを今のうちに行いたいという思いは伝わってきております。それと併せて、今お話があった地域については、農業振興地域に指定を受けています。

今先ほど私のお話の中でも説明をさせて頂いた企業誘致についても、農業振興地域でありますので、手続的には、農地転用も行いますが、農業振興地域の除外の手続きということで、あの地域だけでも、恐らく6～7年越しほど経過していますでしょうか。なかなか国は農地を減らそうとしません。しかし、私の個人的な考えとしては、北海道から沖縄まで地域事情が違う中で、農業政策というものを全て同じ

というのは、いかがなものか、特に首都圏30km圏内の首都近郊の農業のあり方、あるいは、稲作農業の現状等々、様々なものを考えると、国の法律はこのままでいいのだろうか、という思いでいっぱいでございます。この地域の地権者の方々の思いというものは、受け止めていきたいと思えます。先ほどお話いただいた内容にありますように、勉強会に参加されているグループの皆様もいるということですので、これについては、もし皆様のご意向について場合によっては時間を取らせていただいて、お話を聞きたいと思っております。

ただし、冒頭で申し上げた通り、国としては農地を減少させることについては、簡単にいかないというのが実態でもございます。今お話しいただいた地域についても、土地活用を図っていくうえで様々な手法がありますけれど、それが叶うか叶わないかというのは、かなり困難を要する事業だと思えますので、慎重にやっていかないとはいけません。これはやはり、行政が主導していくというより、地権者の方々が土地活用を図りたいというご要望事項として受け止めさせていただき、改めて日程等、調整していただければと思っております。

参加者 調整池について、私の自宅が県道の川崎地区にあるのですが、令和元年度頃、水が出たときに、近辺の下水が排水できず、浸水しそうになりました。原因としては市の下水が新河岸に排水されるからだそうです。結局水が大量に出るので、水門を閉めることができず、水があふれた場合、低い場所から浸水してしまう可能性があります。調整池ができた場合、新河岸川にどのような影響がでるか分らないのですが、私の住んでいる地域は浸水してしまう可能性がありますので、その安全性について改めて確認して頂きたいです。

市長 対策を進めていきたいと思えます。

参加者 ふじみ野駅と、上福岡駅の乗降客について、詳しい人数は知らないのですが、日々使っていると人が溢れる時間帯があります。駅の規模を現状から変える計画はないのでしょうか。

市長 駅については、行政で対応しきれない状況でございます。
鉄道事業者が、駅の改修やホームの長さなどを決定するということ

で、例えばホームがあふれてしまうような状況であれば、入場制限をかけたり対応するのは鉄道会社ということになります。ただし、行政としても要望を出すといったことは行っているのですが、仕事の形態がコロナ禍以降非常に変わりました。現状では、出勤時間の変更になったり、かなりフレックスになったり、あるいは出勤しないでリモートで仕事をするが増えてきており、実は、乗降者数はコロナ禍以前より減少している状況です。

現在は、コロナ前のまだ8割方までしか乗降客が増えていない状況です。だいぶ戻ってきたような感じもするのですが、ただ、今お話しされたように、一定の時間帯が増えるなどということは見受けられるようです。しかし、今のところ、全体としては利用者が減少しているという状況です。

また、質問とは少し違う話になりますが、今年からふじみ野駅と上福岡駅のホームドアの設置工事が始まる予定です。ホームを使用しながらの工事ということなので、2年ほど年数はかかります。

それから、どうしても上福岡～ふじみ野駅間踏切での人身事故が多いので、これについても東武鉄道からは、万が一人が立ち上がった場合に備えて、自動停止システムを各所に導入をしていくという回答をいただいているところであります。

併せて年に1回、東武鉄道の関係者と沿線の市長・町長が集まって対策協議会を組織しており、地域の要望をあげさせていただいております。

参加者 上福岡の踏切はどうにもならないのでしょうか。工事の計画が一時期ありましたけれど、今は変わってしまっています。バスを使っている人も時間がずれてしまっています。

葦原中学校から寺尾小学校、東上線のアンダーを抜けて国道254号へ行く道が朝晩混むようになったのは、恐らく踏切が混んでいるからだと思います。私自身も時間が読めないためほとんど通りません。このことについて、これから変わっていくといった予定はあるのでしょうか。

市長 東武東上線の踏切についてですが、合併以前に地下道を作ろうという計画がありました。当時の金額で、60数億円お金がかかると言わ

れており、やっと国からの事業認可をようやく取れたところでした。当時は、地下道を作る際に、従来の道路構造令では作れなかったため、その制度を変えて認可していただいた事業であったのですが、合併後にこの事業の効果を改めて評価し直すという中で、事業は中止ということに決定されたようです。その後それを変えるような新たな地下道や、アンダーパスや陸橋を建てるといった計画については、今はない状況です。当時で60数億円かかるといわれておりましたから、もし地下道を作るとしても、恐らく、数年でできる事業ではなく、計画を作り上げたとしても、10年、15年かかってしまうことになってくると思います。その頃には恐らく鉄道の利用本数というのも減ってくるのではないかと思います。更に、車の台数も減少傾向になってくるのではないかと思いますので、今そのためのお金をそこに投入するということが政策的に本当に正しいのかと考えられるところがございます。

場合によっては、人や自転車が鉄道をあの踏切を使わずに、地下道やエレベーターを使った陸橋等、人だけの移動方法を考える方が、金額も安く済みますし、車社会が段々減少していく将来に向けて効果があるのではないかと思います。

結論としましては、かつて20年以上前に計画された地下道に関しては、計画がなくなってしまったという状況です。

参加者 県道から葦原中学校に入る信号周辺について、朝晩通勤の車が非常に多い状況です。そのため、細い道、家に向かう住人しか行かないような細い道に入り込んでいます。一つ手前の路地に入って砂利道を抜けて県道へ出るコース、もう一つ手前の葦原中学校寄りの道路を左へ曲がって住宅街を通過して県道へ出るという2つのコースがあり、夕方朝も、相当の通行量があります。そこを通る人たちの多くは、止まるべき場所を止まらず、住宅街はカーブミラーもないため、出会い頭にぶつからないかなといつも不安に思っています。

県道の交差点の信号を、もっと工夫ができないでしょうか。南古谷から来ても右折帯がありません。矢印が出れば流れが良くなると思います。葦原中学校から県道に出る、南古谷から来た車が右折して葦原中方面に右折する、ここを工夫ができないかなと思います。

市長 この件については、今後の課題として検討したいと思います。

参加者 毎朝、元福小学校でこどもの見守りをしています。朝のラッシュ時、東上線の遅延があると、車が増え、渋滞になります。その際は、私だけでなく元福小学校の校長も一緒に、小学校の前で誘導しているのですが、車がつながってしまいます。そういう場合、県警の警察官に誘導をしていただけないでしょうか。

また、大原に新しいマンションができましたが、元福小学校に通う際、通学路に横断歩道があるのですが、元福小学校校長と葦原中学校校長を含め、自治組織で市に「押しボタン式の信号を付けてほしい」と依頼をしましたが、まだ返事がありません。せめて、その信号付近に臨時で横断中の旗等をつける等の対応をしてほしいです。

市長 別のタウンミーティングでも同様の話がありました。現在、市内各地で信号の設置要望が多い状況です。実態としては、ふじみ野市・富士見市・三芳町の東入間警察署管内で、1年間に1カ所つくかどうかくらい、信号機の設置は困難になっていますので、押しボタン式の信号だとしても、設置できるか分からない状況です。

今のお話にありました横断旗の設置についても、可能かどうかというところもありますけれど、横断旗を設置してしまうと、「そこを渡ってください」というような意味になってしまう可能性もありますので、通学時には、学校や教育委員会としては、遠回りしてでも信号機のあるところを通ってくださということになっていると思います。横断歩道についても設置要望をしても、横断歩道間の距離が決められていますので簡単なことではありません。さらに、横断歩道が多すぎると車側が何度も止まらないといけないことになるため、横断歩道の設置についても慎重に検討しなければなりません。お話のありました場所については、横断旗の設置も含め、検討していきたいと思います。

参加者 今日出席できなかった人からの質問を代理でお伝えします。

防災公園のすぐ先に氷川神社がありますが、その近くに開発中の場所があります。そこのゴミ置き場付近の市道の草がひどいので、道路課にも協力してもらい有志で刈ってもらうことになりました。以前、向こう側まで草が生えないように、シートを敷く等の対応をしてくだ

さると聞いていたのですが、早急に対応してほしいです。

また、ゴミのネットの位置も低くゴミ出しが大変なため、支柱を立てる等、高い場所に設置していただきたいです。

市長 あとでご本人にご連絡を取らせていただき、担当課と確認させていただきます。

参加者 現在使われていない元福岡の給食センターについて、撤去するという話を聞きました。あそこは撤去されて、何になる予定ですか。

 もう一つ、現在遊水池を作っていただけてますが、遊水池に沿って南側に走っている農道について、細い道ですが、一般の人が通るので、通行ができるような管理をしてもらえますでしょうか。

 また、遊水池を作ることにについて、1回説明会を開くと事前に聞いていたのですが、それが1回も行われていません。説明会がないまま工事に入っているものですから、今から言っても遅いとは思いますが、できれば、遊水池に沿って南側を走っている農道についての整備についても併せて、説明をいただければと思っております。

市長 現在使われていない元福岡にある第2給食センターについては、ずっと市の倉庫として使われていたのですが、かなり古い建物で投石でガラスも割れてしまっていたりするので、解体をする予定です。しかし、調整区域なので再利用するには制約があるため、倉庫のようなものを作って活用していければと思っております。今の建物より小さな倉庫にして、何らかの公共的なスペースとして、活用できればと考えております。

 遊水池の通路についての取扱いについて、説明会が開催されていないという件につきましては、担当課職員がおりますのでご説明させていただきます。

 (補足説明)

 以前、各自治組織の役員の方には説明させて頂いたところがございます。その際に、自治組織の意向として、自治組織への説明会は行わないが、個別で要望があった場合については、市の方で対応をお願いしたいという意向でした。

 農道の整備については、後ほど調整域に関する管理用道路として利

用する予定です。それに伴い、市の方で、舗装をかけさせていただく予定です。

参加者 管理用道路になるということは、道路の幅を広げるということでしょうか。車が通れるくらい広がると、そこを車が通り始めてしまうと思います。

市長 場所によって幅は変わりますが、2～3メートルほどになる予定です。工事終了後は、一般の方が利用できるようになります。

参加者 遊水池の管理用道路について、今より交通量が増えると非常に困るので、新河岸川の土手のように、ポールを立てて、普段は一般車両が入れないように管理してくださいということで、お願いしました。

市長 そのことについては地域の方々のご意向を聞きながら活用していったほうがいいと思います。今回、工事をするにあたって、従来の方々のご利用の形態に影響を及ぼさない範囲で整備をしたからと言って、通常どおりに使って交通量が増えてしまえば元も子もないですし、そこを、従来お使い頂いていた方々に不都合が生じない形で、一定の制約をかけて、普段は車が通れないようにするのか、その状況を見て、地域の皆さんのご意見を頂きながら、進めていければいいなと思います。